

平成28年度境港市総合戦略推進会議録

日 時：平成28年10月31日（月） 15：00～16：30

場 所：境港市民会館 2階 大会議室

出席者：別添のとおり

日 程：

1. 開 会

2. 会長あいさつ

3. 副会長選出

4. 協議事項

①平成27年度における地方創生の取組実績について

- ・平成27年度境港市の人口動向について
- ・境港市総合戦略「平成27年度の取組実績」について
- ・国交付金を活用した平成27年度実施事業の効果検証について

②境港市総合戦略の改訂について

5. 報告事項

- ・地方創生に係る国の動向等について

6. その他

7. 閉 会

1. 開 会

(事務局)

皆様、本日はご多忙の中、本推進会議にご参加いただきまして誠にありがとうございます。
只今より、「平成28年度境港市総合戦略推進会議」を開催いたします。

まず、配布資料の確認をさせていただきます。

「式次第」、資料1「境港市の人口動向」、資料2「境港市総合戦略 平成27年度の取組実績」、資料3「施策の取組状況及びKPIの進捗状況」、資料4「具体的施策の取組状況」、資料5「国交付金を活用した平成27年度実施事業の効果検証について」、資料6「境港市総合戦略の改訂について（案）」、資料7「地方創生に係る国の動向等について」、参考資料として「境港市総合戦略」を事前に配布させていただいております。当日資料として「出席者名簿」、「配席表」、「境港市総合戦略推進会議設置要綱」を配布しております。

本日の会議に際しまして昨年度より8名の委員が変更となっております。委員の委嘱状につきまして、本来であれば、委員の皆様にご直接お渡しすべきところですが、会議時間短縮のため、あらかじめ、席上に配布させていただいております。

ご了承いただきますようお願いいたします。

多くの委員が変更となっておりますので、改めて委員の皆様にご一言ずつ自己紹介をいただい

ればと思います。席辞表の順に梶田会長よりお願いいたします。

※委員が順に自己紹介

なお、本推進会議のオブザーバーとして、県の地方創生コンシェルジュで、本市の担当でございます。鳥取県西部総合事務所地域振興局西部観光商工課の八幡課長にもお越しいただいております。

続いて、本日の推進会議の内容について、確認させていただきたいと思います。

昨年度策定いたしました「境港市総合戦略」につきましては、PDCAサイクルを回していくことが求められています。本市におきましては、当会議にて毎年度施策の効果検証、改善に向けた提言をいただき、必要に応じ「総合戦略」の見直しを行うこととしております。

そのため、今回の推進会議では、平成27年度の取組実績及び国交付金を活用した事業についての効果検証、境港市総合戦略の改訂についてそれぞれご協議いただきたいと思いますと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

それでは、以降の会議の進行については、梶田会長にお願いしたいと思います。梶田会長、よろしくお願いいたします。

2. 会長あいさつ

(会長)

先ほど自己紹介もありましたので、早速議事に入らせていただきたいと思います。

3. 副会長選出

(会長)

では、議事を進めさせていただきます。

まず、次第3にございます副会長の指名を行います。

前副会長でありました足立利昭委員が委員の職を辞され、現在副会長が空位となっております。推進会議設置要綱第5条の規定では、「副会長は、会長の指名によりこれを定める」とありますので、私の方で指名させていただきます。

副会長には、奥森委員を指名させていただきたいと思います。奥森様よろしくお願いいたします。

(副会長)

境港商工会議所の奥森です。昨年度から委員としていろいろなご意見をさせていただいております。会長の指名により副会長となりましたので今後ともよろしくお願いいたします。

4. 協議事項

①平成27年度における地方創生の取組実績について

(会長)

それでは、「次第4 協議事項」に移りたいと思います。協議事項「①平成27年度における地方創生の取組実績について」事務局の説明をお願いします。

(事務局)

資料1に従い、境港市の人口動向について説明させていただきます。

平成27年国勢調査の本市人口の確定値は34,174人となり、平成22年調査より1,085人の減少となりました。本市の人口は減少を続けていますが、昨年策定しました境港市人口ビジョン目標推計値よりも若干でありますが高水準となっています。

年齢3区分別に見ますと、15～64歳の生産年齢人口及び0～14歳の年少人口は右肩下がりが続いています。一方で65歳以上の高齢者人口は右肩上がりの状況で少子高齢化がますます進行している状況です。

出生数と死亡者の推移であります自然動態については、年ごとに多少の増減はあるものの概ね横ばいで推移しており、ここ数年は約160人程度の自然減の状況が続いています。

転入、転出者数の推移である社会動態については、平成23,24年は社会増でありましたが、平成25年以降は社会減となっています。特に平成27年は大きく社会減となっていますが、これは18歳から20代の転出超過数が例年より大きく、進学や就職等により市外へ転居した方が多かったと想定されます。参考に地区別の転入超過数を記載しておりますが、県内では米子市への転出が多くなっています。人口動態の説明については以上です。

続いて、資料2～4に基づき、総合戦略「平成27年度の取組実績」について説明させていただきます。

資料2につきましては、昨年策定しました境港市総合戦略について、3つの基本目標に対して、計画最終年度である平成31年度の目標数値に対する平成27年度の実績数値を記載しております。また計画策定後の初年度でありますので、まだ目標数値に達していないものがほとんどでございますが、引き続き目標値達成に向けて取り組んでいきたいと思っております。

また、施策に係るKPIの進捗状況については、総合戦略の各施策に対して35項目のKPIを設定しており、KPIごとの進捗をA～Dの4段階で評価しており、基本的には基準値から5年後の目標値までの伸展を5で割って1年分の伸展に換算し、平成27年度の伸展が目標値の1年分の伸展に対してどの程度達成したかで評価しております。なお、この評価についてはあくまで数値目標の評価であり、平成27年度単年で成果が出づらいため施策もありますので、評価が低いものが必ずしも取組が不十分であるわけではございません。

KPIの進捗評価につきましては、A：既に達成しているKPIが1、B：順調に進捗しているKPIが19で約54%を占めており、概ね半分が順調に進捗している状況です。しかしながら、C：進捗がやや不十分、D：進捗が不十分の項目も40%強ありますので、引き続き取組を進めていきたいと思っております。

35項目のKPIの個々の内容につきましては、資料3で各施策ごとにまとめております。

既に達成している1項目のKPIは、DBSクルーズフェリーの乗客数になり、年間2万人を目標にしておりましたが、平成27年度で既に目標を達成しております。理由については、基準値であります2014年に韓国でセウォル号の事故があり、客船の乗船数が低下している状況となっておりましたが、低下した乗客数の回復、円安の関係などで平成27年度の乗客数が過去最高となっております。このKPIにつきましては、後ほどの総合戦略の改訂にて目標数値の上方修正を提案させていただきたいと思っております。

続いて、KPI評価がD:不十分となっている項目についてでございます。

雇用創出数については、市が雇用奨励金等で企業に支援した人数を計算しておりますが、平成27年度の立地企業については、この企業の雇用者数は補助実績として平成28年度になって確定するため、平成27年度は平成26年度の立地企業の実績となっております。現在の進捗として10月時点の実績は60名程度であるため、平成28年度の数字は上昇していく見込みです。

漁業所得については、計画目標がかなり高い数値となっていることもありますが、浜の活力再生プランに基づき様々な取組が進められており、現時点ではわずかではありますが基準値より向上しており、今後の伸展が期待できるものだと考えております。

合計特殊出生率については基準値より減となっておりますが、平成27年度の出生数は前年より30人程度の増となっており、今年の公表数値では数値の上昇が期待できるものです。

不妊治療後の母子手帳交付者数に関しては、不妊治療助成金は28組に助成していますが、妊娠に至ったのが9組となっております。数字上の結果は芳しくないが、着実に取組を進めております。

続いてアンケート調査等による公園利用者満足度の項目については、公園利用者へのアンケートがまだ未実施のため、進捗を不十分としています。当内容に関連して、平成28年度に公園整備に対するニーズ調査のアンケート実施予定としています。

高齢者の地域見守り体制の整備については、組織の立ち上げまでは至っていませんが、各地区で取組を進めており、今後目標に向けて数値が上がってくるものと考えています。

資料4については、総合戦略に記載しています具体的施策ごとの平成27年度の取組実績及び今後の取組について記載しています。詳細な説明については省略いたしますが、目標達成に向け、引き続き取組を進めていくこととしております。

続いて資料5についてですが、国交付金を活用し、平成27年度に実施した事業について、交付金、KPIの実績、事業の効果、今後の事業展開について記載しております。

平成27年度は国の交付金を活用して計20事業を実施し、単年度で終了した事業が4事業、事業の見直し、拡充等を行い、継続する事業が16事業となっております。

なお、国の交付金を活用した事業には、中海・宍道湖・大山圏域市長会及び鳥取県西部での広域連携事業も含まれておりますが、これらについては、市長会等の各組織においても当会議のような有識者会議で効果検証を行っており、本市からも奥森委員、長曾委員、大庭委員が有識者会議に参加していただいております。

説明については以上です。

(会長)

それでは、只今の事務局より説明のあった境港市総合戦略の平成27年度の取組実績について、ご意見やご質問、自分たちはこのような取組をしているといったことや今後もっとこういった施策に取り組んでいったらいいのではないかという提言などがあれば、ご発言いただければと思います。

今回の総合戦略については、事業を行って、どのような効果があったかを検証していくというのが行政には珍しく、目新しいことだと思います。KPIという言葉は重要業績評価指標の略です。5年間の計画の初年度の実績ですので、まだまだ不十分な点が多いかと思いますが、それを踏まえて委員の皆様からのご意見をいただければと思います。

ご発言なさる方は、挙手のうえ、お願いいたします。

(副会長)

人口減少に歯止めをかけないといけないと考えています。財源は度外視して、行政としてはどのようなことに注力してどのような施策をおこなっていけばよいと考えていますか。

(事務局)

自然増減に対しては即効性を持って対処はできないと考えています。社会増減は最近減少が続いています。人口流出をどのように阻止していくかが肝要であり、本市の重要な社会インフラである3つの港を生かした、経済・産業振興を行っていくことが重要だと考えています。

社会減について、大学生が県外に出てなかなか帰ってこない現状があります。子どもの頃から地元で愛着を持ってもらうことが重要だと考えています。商工会議所等と連携して産業振興、魅力のある働き場づくりに向けて取り組んでいくことが重要だと考えています。また、移住・定住施策が本市は弱い部分があると感じていますので、そこに力を入れていくべきだと考えています。

(委員)

資料3のKPIについて、昨年指摘していればよかったですが、クルーズ客船のKPIについて、クルーズ客船での寄港者の総数になっており、日本人も含まれています。総数をとってもいいと思いますが、外国人の細かいデータもありますので修正してもよいかと思っています。

平成27年の実績が記載してあるが、既にH28年の実績も固まっており約39,500人となっています。また来年度の見通しも大体ついておりますので、そこも踏まえてKPIの見直しをしていただければと思います。

境港市にとっては、多くの外国人観光客が来ていただくことは良いことなのですが、多くの方が本市を素通りして松江市方面に行っているという現状があります。本市が最終的に目指すべきは外国人観光客の総数を増やししながら、いかにして本市にとどまってもらうかということだと思います。その点を意識して事業等を打ち出させていただくと効果的だと考えています。

(会長)

来年のクルーズ客船の寄港数、寄港人数の見込みはどれくらいですか。

(委員)

まだ確定はしておりませんが50隻は超える見込みです。寄港する船の種類も増える見込みであり、総数も増え、年齢や国籍も多様になる見込みです。寄港人数については未確定ですが5万人は超えてくるかと思います。

(会長)

クルーズ客船の流れは、日本全体の流れも同様ですが非常に良い流れになっています。貨客船ターミナル整備も進んでおり、今後4～5年の期間で見ると本市にとって非常に良い兆しだと思います。

総合戦略に美保基地の輸送機能強化についての働きかけという施策もありますが、自衛隊の関係についてはどのように進んでいますか。

(副会長)

陸上自衛隊の大型ヘリコプターの配置や空中給油機配備の検討など、部隊の再編が進んでいる状況で、それに伴う転入、転出の差引はほとんどゼロに近いと認識しています。対岸諸国との関係など含め、美保基地そのものの規模や質が拡大していると考えています。市内では水産関係は非常に労働力不足であり、外国人労働者を入れていかないといけない状況であり、今後水産関係の企業を誘致しても労働力の奪い合いの状況になります。市の企業誘致の戦略的にも基幹産業とは異なる業種の企業誘致に取り組んでいくべきではと思います。

難しいことだとは思いますが単一業種に頼ることなく、バリエーションを持って対応できるような戦略的に企業誘致を進めていくべきだと考えています。

(会長)

自衛隊と港というのは本市の大きな特徴です。非常に大きな素材だと思っておりますので、さらなる活用に取り組んでいかないといけないと考えています。水木しげるロードについては、全国的に地方創生が騒がれる前から取り組んでいます。市長の公約のとおり、駅前にホテルも完成しました。今後約11億円かけてリニューアルも進んでいます。このように本市は地域振興に向け、非常に良い素材が多くあり、他から見ればうらやましい状況であると思っています。その素材を生かすようにしていかないといけないと思います。

(委員)

先ほど外国人観光客誘客の部分で話がありましたが、観光客数が増えることも大事ですが、それにより地元にお金が落ちることが重要だと思います。KPIの指標などに、経済効果がどのように出ているかという数字などが把握できないものでしょうか。

(会長)

委員の意見は大事なことだと思いますが、例えば民間の商業施設等の売上を正直に言ってくれるところは少ないと思いますし、金額での把握は非常に難しいと思いますので、把握できる指標としてはとりあえず外国人観光客数となるかと思います。本市にとどまってほしいというのがありますが、小売店などの十分な受入施設がない状況では難しく、小手先の対策では駄目ですので、受入環境の充実に努めていかないといけないと思います。

外国人観光客が時々、みなとまち商店街を訪れて買い物をしていきますが、多いときで1日に150万程度の売上があります。

(委員)

他委員の意見でもありましたが、雇用創出の取組が施策にある一方で水産加工業の労働力不足という問題があります。小売りに関しても、ディスカウントストアやコンビニが数多く出店し、人手不足のようです。企業誘致の取組をどのように考えていますでしょうか。また子育て支援の施策等がありますが、介護離職の問題については特に施策がないように思いますが、その点はいかがでしょう。

(事務局)

介護離職の問題については、重要な問題だと考えています。介護職の業界も水産業界同様に人手不足が深刻な状況です。人手が厳しいながらもなんとか運営されていますが、国の介護報酬の引き下げで今後収入面での厳しさも見込まれています。介護の問題については、より充実した取組が必要だということで、市内に2つありました委託による包括支援センターを統合し、本年10月より市直営での運営を開始しました。ここで専門職員を揃え、高齢者のみならず障がい者の方も含め、個々での対応でなく、一家を支援していくというスタンスで取り組んでいます。来年度以降は人的体制も強化し、介護離職の問題も少しでも抑制できるように取り組んでいきたいと考えております。

(委員)

政府は国の方針として、介護離職をゼロにするということを掲げていますので、境港市の総合戦略にもこの問題の対応を載せていくべきだと思いますがいかがでしょうか。

(委員)

1億総活躍プランにて介護離職ゼロに向け、ハローワークでも取組を進めていくのですが、今年介護休業の改正があり、介護休業を取りやすくする、休業期間中の手当を増額するといった内容となりました。しかし、実績としてハローワーク米子管内で申請が出ているのが月2件程度となっており、介護休業をとる方は非常に少ないのが現状です。

介護休業を取りやすい環境を整備することは重要であり、総合戦略の中にはワーク・ライフ・バランスの推進の取組も記載されていますので、介護離職対策そのものが記載されているわけで

はないですが、そこを手始めに企業への働きやすい環境整備に向けての対策を進めていってもらえたらと考えています。

(委員)

企業が女性が働きやすい就労環境整備に努めてほしいと思います。まだまだ男女共同参画推進認定企業の割合も境港市は少ないので、企業の意識改革に努めていただきたいと思います。

最近是非常に若い男性の方が子育てに協力している姿が見られてほほえましく思っていますが、一方で自分の回りにも未婚の方が数多くいます。総合戦略でも圏域で婚活事業に取り組むとありますが、実際に事業を行って、成婚までどれくらいの方が至ったのか、また結婚できないのはどのような理由があるのかの実態把握をしてほしいと思います。

(事務局)

介護離職ゼロの取組につきましては、直接の言及はありませんが、先ほど委員の意見でもありましたが、ワーク・ライフ・バランスの推進という中で介護離職ゼロに向けても企業の方への啓発活動等に努めていきたいと思います。男女ともに働きやすい環境を整えていくことで、介護離職も減少させていけると考えており、その指標となるKPIが「鳥取県男女共同参画推進認定企業の割合」とさせていただいております。目標に向けて、まだ不十分な数値となっておりますので商工会議所等と連携して取り組んでいきたいと思います。また関連して介護関係の部分で「75歳以上人口に占める要介護認定者の割合抑制」を掲げております。

婚活に関してですが、圏域で婚活事業に取り組んでおり、その場でカップルになる方はそれなりにおられますが、結婚まで至る方はかなり少数になります。今把握できている中では、平成26年度の事業でカップルとなった方が1組ご成婚されています。成果をすぐに出していくのは難しいですが、こういった取組を継続し、出会いの場を増やしていく支援をしていきたいと考えております。

(副会長)

先日、境港青年会議所主催で行った婚活事業はかなり精度が高かったと聞いています。個人的にはこの問題は行政があまり関わるべきではなく、むしろ、きちんとした背景を持った団体に必要経費を補助するなど、そういった団体、若い人たちに任せていくほうがいいのではないかと思います。任せていくことで、青年会議所などもそういった気運が高まっていくのではないかと思います。

ワーク・ライフ・バランスの問題については、極論ではありますが、例えば公共調達をする際にワーク・ライフ・バランスに取り組む企業の査定ポイントを上げていくなどすれば、企業も取り組んでいくように思います。実際問題として、事務職や設計などの分野で男女で能力に差があるものなのではないでしょうか。

(委員)

設計事務所の立場から言いますと、能力的には差があるわけではありません。しかしながら、受注産業となりますので時期によっては必ずしも定時に業務が終了できるわけではありませんので、特に家庭を持った女性には厳しい部分もあるかもしれません。私の会社では、社員18名中6名が女性で約3割が女性という状況であり、育児での休暇などは取りやすい環境づくりには努めています。

(副会長)

事務職に就きたいという女性は非常に多いです。ワークシェアという考えで働き口を増やすというのも一つの方策だと思います。

(会長)

青年会議所が実施した婚活事業には行政からの支援はあったのですか。

(事務局)

市民活動推進補助金の申請がありましたので、補助金として支援を行っています。

(会長)

難しい申請なしでも条件を満たせば補助をするような仕組みでもあればいいと思います。

(委員)

私は中小企業で経理を長年やっておりましたが、中小企業ではだれかが休業すると代替りの人員がおらず、介護離職などの問題に対応できないのが現状です。国などが様々な制度、対応に取り組んでおられますが、制度を理解することや活用をしていくこと、代替の人材を確保することに対応できていません。そういった面に対してもなんらかの支援を考えていかないといけないのではないかと思います。そういった中小や零細企業への支援体制を作っていないと、介護離職の問題などは解決していかないとと思います。

(会長)

中小企業への人的な面を含めた個別対応などは個人的には非常に難しいと思いますが、行政で検討できることがあれば検討していただけたらと思います。

(委員)

米子高専の立場としては、技術面での貢献が可能だと考えています。水産業での人手不足の問題に関して、ICTを活用したなんらかの機械化等の支援などで問題解決のお手伝いができるのではと思います。西部地区で唯一の工業系の高等教育機関であり、人材育成を行っています。境港市出身者が数多く入学しています。その学生を地元に残していくことが課題ですが、現実問題と

しては景気が上向く中で、生徒数に対し、非常に多くの求人を頂いており、その求人の中で市内及び中海・宍道湖・大山圏域での求人は1割程度なのが現状です。地元に残りたいという意向の学生も多いですがそのような求人状況の中で地元に残るのは難しいのが現状です。境港市の良さとして、松江市や安来市などに就職しても、市内から通えるという、通勤圏が広いことがあると思います。工業系の企業を誘致する際に、技術者の人材を確保できるかという課題があるかと思いますが、その点でも米子高専として人材の輩出、確保というお手伝いができると思いますので、そういった機会があればご相談いただければと思います。そのような面で若者の地元への定着というご支援をしたいと考えております。

境港市を税制面や福祉面など含め、魅力あるまちにしていくことで、就職は近隣市で行っても、地元へ定住していくと思います。会長も言われたように非常に魅力ある素材を有したまちだと思いますので、それを活用して魅力あるまちにすることで、定住あるいは移住につながっていくと思いますので取り組んでいただきたいと思います。学校としても協力していきたいと思います。

(会長)

米子高専の就職率は100%と伺っておりますが、そうでしょうか。

(委員)

生徒数を大幅に上回る求人がありますが、本人の能力、企業とのマッチングの問題もありますので、ほぼ100%というところです。また生徒の3~4割は進学希望で就職でなく、進学をしております。

(委員)

私は関東から移住してきて20年ほどになりますが、当時からいい人が多いなという印象があり、住みやすいなと思っていました。当時よりインフラなどは大分整備され、まちの様子もかわりましたが、住みやすいまちだという印象は変わっていません。

観光振興などいろいろな取組をされていますが、なにか足りない部分があるのではないかという問題提起の中で、当会議が開催されていると思います。昨年あまり会議に参加できず、久々の参加での意見で申し訳ありませんが、個人的には委員の我々が何かしていくというのではなく、市の側から、こういったことをしてはどうかという提案をどんどんしてもらって、それに対して委員が様々な立場から意見をいって、まとめていくのではないかと考えています。今回は昨年の実績を示してもらっての協議ですが、もっと市の方から提案をもらって、それを委員が協議して、実際に実施する内容にしていくという方向性でないといけないと思いますがいかがでしょうか。

事務局の提案に対して、委員が答えていくという協議のキャッチボールが必要だと思います。

(会長)

総合戦略については市の提案も多く含まれていると認識しています。協議のキャッチボールについては4~5人の会議であれば可能ですが、大人数の会議ではなかなか難しい面もあると思

ます。

(事務局)

事務局としては、市から提案し、委員の皆様にご審議いただくという形式で考えておりましたが、20名以上の委員で大きなテーマの中で自由にご協議いただくという形でなかなかまとまりにくいという状況はあるかと思えます。

基本的に総合戦略は、行政だけでは解決が困難な問題を委員の皆様をはじめ市民の方々から意見を頂き、皆様のご協力も頂きながら問題解決に取り組んでいくというものであります。国はそれに対し、産官学金労言の各業界を参画させるようにと示しております。地方創生に向けた諸問題は行政だけで解決できないものが数多くあり、例えば金融機関ではファンドを設立していただいたりなど各団体が協力して取り組んでいくというのが、そもそもの主旨としてございますのでご理解いただければと思います。

(委員)

事務局の姿勢を責めているわけでは決してありませんが、多くの資料を作っていたいでいますので、もっと突っ込んだ形の協議になればより良い会議になるのではと思えました。事務局の方も遠慮されずにもっともっと提案、発言いただけたらと思いますのでよろしくお願いします。

(会長)

委員の意見もごもっともですが、限られた時間、回数の中で、多人数の委員の皆様と十分な協議を行っていくというのは難しいとは思えます。今回の会議も昨年策定した総合戦略の平成27年度の実績を示し、それに対してのご意見、又はこういったことが必要ではないかという意見をいただくものとなっており、それ以上は難しいと考えています。

(事務局)

昨年半年ほどで総合戦略をまとめさせていただきましたが、委員の方々から頂いた意見を内容に反映できたと思っております。会議のあり方についてご意見いただきましたが、多くのご意見をいただくことが、この会議の意義であると考えていますので、多くのご意見をいただき、意見の内容について、会議のあり方含め、どう対応していくか検討していきたいと考えておりますので、ご意見をどんどんいただければと思います。よろしくお願いいたします。

(会長)

検証の会議は1年に1回の予定でしょうか。

(事務局)

そのように考えています。

(会長)

会議については、そのような状況ですので、会議の場で十分な議論をすることは難しいと思いますが、今日の資料をお読みいただき、問題だと思う部分を普段から意識していただければと思います。境港市を良くしていかないといけないのが大前提ですので、意見をいうだけでなく、取り組んでいかないといけないと思いますのでよろしくお願いいたします。

(委員)

会議以外の場合で何か意見がある場合は、事務局に話せばいいでしょうか。会長にお話ししたほうがいいでしょうか。

(会長)

窓口がバラバラになるといけませんので、事務局にお話しいただければと思います。会長として、意見の内容の相談にはいつでも応じたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

(副会長)

米子高専の技術協力の部分でお伺いしたいのですが、水産加工業といった厳しい職場環境で高専の技術を活用した省力化というのは可能でしょうか。

(委員)

内容にもよりますが可能だと思います。そういったことの相談に直接学校に来ていただくというのは難しいと思いますが、最近、山陰合同銀行と連携協定を結ばせていただき、山陰合同銀行を通じて地元のニーズなどのご要望をいただいております。商工会議所や市経由でも構いませんので、そういったニーズがあればご相談いただけたらと思います。

(委員)

私の息子も境1中を卒業し、米子高専に入学しております。米子高専と地元企業との協力会が早くから立ち上がり、学校と企業の距離が近いと感じていますが、学生が地元企業のことをどこまで理解しているのかという部分では少し疑問があります。私の息子はまだ1年生ですので、進学か就職か決めている段階ではありませんが、早いうちから地元企業の良さを伝えていくことが、定住につながっていくと思いますのでよろしくお願いいたします。人口の社会増減の部分で、平成27年が大幅に社会減であることは危機的な状況だと思いますし、そのうち18~20代の転出が多いとのことでしたので、これはやはり市内に若い世代が働きたいと思う職場が少ないということをお話していると思います。事務局も危機感を持って対応を考えていただきたいと思います。一番手っ取り早い解決策が企業誘致だと思いますが、戦略的なこともありなかなか難しいと思います。KPIの指標の評価がAになるものが増えるように取組を進めていただけたらと思います。

(会長)

この議題については以上とさせていただきたいと思います。

②境港市総合戦略の改訂について

(会長)

続いてもう一つの議題である「境港市総合戦略の改訂について」の協議に移りたいと思います。事務局は説明をお願いします。

(事務局)

境港市総合戦略の改訂について、資料6を基に説明いたします。

平成27年度の取組状況や新たな動きを踏まえて、「境港市総合戦略」の一部を改訂したいと思います。

まず数値目標の達成を踏まえKPIの修正を行うものです。

D B Sクルーズフェリー乗客数（境港～東海間）について目標を2万人としておりましたが、2015年の実績が2.77万人と既に目標を達成しておりますので、こちらの目標を3万人に上方修正させていただきたいと思います。

また委員からご指摘いただきましたクルーズ客船寄港年間外国人観光客数については、後日委員に相談、会長と協議の上、修正させていただきたいと思います。

続いて、新たな動きを踏まえ具体的施策を追加するものとして、2項目を追加させていただきたいと思います。

一つ目は、「観光地の魅力度向上による滞在型観光の推進」の具体的施策の追加です。

「大山開山1300年祭」について、地方創生推進交付金を活用して、県、西部9市町村で情報発信、受け地整備等の観光推進事業を実施することとしており、具体的施策として、

「○県、鳥取県西部地域（9市町村）などとの連携による「大山開山1300年祭」を通じた広域観光の推進」を追加させていただきたいと思います。

2つ目は「女性の就労環境充実のための家庭介護負担の軽減」の具体的施策の追加です。

地方創生加速化交付金を活用し、理化学研究所と共同で市民の健康データ分析による生活習慣病予防、重症化予防、介護予防の取組を実施しており、その内容について総合戦略に明確な記載がありませんでしたので、

「○市民の健康データ分析による生活習慣病予防、重症化予防、介護予防の取組の実施」という具体的施策を追加させていただきたいと思います。説明については以上です。

(会長)

それでは、只今の事務局の説明事項について、ご意見やご質問、なんでも結構でございますので、ご発言をお願いいたします。

※委員からの意見はなし

(会長)

それでは、境港市総合戦略の改訂について、事務局の提案内容で承認したいと思いますがいかがでしょうか。

ご承認いただきます方については、拍手をお願いいたします。

※委員賛成多数により承認

拍手多数でありますので、境港市総合戦略の改訂について、事務局案で承認したいと思います。

それでは、協議事項についてはこれまでとし、次第5の報告事項に移りたいと思います。事務局は説明をお願いします。

5. 報告事項

(事務局)

報告事項として、地方創生に係る国の動向等について資料7に基づき説明させていただきます。

平成27～28年度にかけて、国より約220,000千円の地方創生関連の交付金が交付され、事業を進めています。

平成28年度は地方創生加速化交付金を活用し、市単独で2事業、広域連携で5事業を進めています。

平成28年度以降の交付金につきましては、昨年度までは補助率が10/10でありましたが、今年度から地方創生推進交付金として交付率が1/2となります。

当交付金を活用して、鳥取県西部地域、中海・宍道湖・大山圏域での広域連携事業を3事業申請しています。

また新たな交付金として、国の平成28年度補正予算として「地方創生拠点整備交付金」が創設され、今まで違いハード事業が対象となった交付率1/2の交付金となっております。当交付金についても活用が可能かも含めて事務局で検討を行っています。

引き続き、国の動向等に変化がありましたら、委員の皆様には情報提供させていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。説明は以上です。

(会長)

それでは、只今の事務局の報告について、ご意見やご質問、なんでも結構でございますので、ご発言をお願いいたします。

※委員意見はなし

(会長)

それでは、「次第5 報告事項」を終了したいと思います。

6. その他

(会長)

続いて、「次第6 その他」について事務局は何かありますでしょうか。

(事務局)

本日承認いただいた内容にて「境港市総合戦略」の改訂を行い、改訂したものについては後日、委員の皆様へ送付させていただきます。

また今年度に、本市の総合計画である「境港市まちづくり総合プラン」の策定を行っておりますので、こちらもまとまり次第、委員の皆様にご配布させていただきたいと思っております。

事務局からは以上です。

7. 閉 会

(会長)

それでは、本日は長時間に渡ってご協議いただきありがとうございました。境港市を良くしていくために、今後5年間をかけて取り組んでいくということで、これは委員の皆様の格別の協力なしでは難しいと思っておりますので、引き続きのご協力をお願いいたしまして、本日の推進会議は終了といたします。委員の皆様、ありがとうございました。